



11月 ほけんだより

上庄ひいらぎこども園 2025年11月

気温が下がり、空気が乾燥してくると感染症がはやりやすくなります。毎日の体調の変化に注意するとともに、コロナ過で学んだ感染症対策、室内の温度や湿度の調節、そして換気もこまめに行うようにしましょう。服装も調節しやすく、過度に厚着にならないよう子どもは大人より1枚少なくしましょう。

おなかの かぜに注意しましょう

急なおう吐や激しい下痢を起こすノロウイルスは、吐いた物（おう吐物）などから感染します。感染力がとても強いので、おう吐物が残っていると、乾いて飛び散り、感染が広がることもあります。おう吐物はきれいに除去し、塩素系消毒液でしっかり消毒しましょう。



ご家庭で胃腸炎の症状のある方がいる場合は、保育者にお知らせください

おう吐 下痢



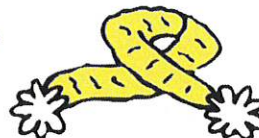
何着る？



季節の変わり目。朝晩の気温差、年々季節感が変わっていく昨今。今日、何を着ようかと迷いますよね。大人はともかく、子どもの着るものは特に考えてしまいます。

寒くなってくると何枚も着せたくになりますが、基本「大人より1枚少なく」です。着すぎると動きにくくなりますし、代謝が良い子どもには暑いことも。知らず汗をかいてしまうと風邪を引かないように着せたまはすのに逆に風邪を引いてしまいかねません。

上着で調節しやすいようにしていきましょう。



楽しいあそびが体と心を発達させる

【発達の目安】

運動機能の発達について

子どもたちは日々、全身を使ってさまざまなチャレンジを続ける中で、運動機能や手指の機能、そして社会性などを発達させていきます。安全にしっかり気を配りながら、「危ない!」「ダメ!」と、子どもの挑戦を制止しすぎないことが大切です。

また、子どもの発達には個人差があります。〇歳なのにこれができる・できない、ということに着目しすぎないことも大切です。

0歳

寝返り～おすわり～はいはい～つかまり立ち～伝い歩き

1歳

歩き始める

2歳

走るようになる

3歳

ぶらんこ、三輪車、ボールあそびなどをするようになる

4歳

友達とあそんだり、遊具を使ったあそびを楽しんだりする

5歳

おにごっこ、かくれんぼなど、集団であそぶようになる

